

## C195 委員会の皆様

令和4年度になり、C195 委員会も4年目に入ります。ここに来て、この委員会の活動のお陰で、色んなことが明らかになってきています。我々の委員会は細胞・個体レベルの放射線の影響測定、放射線の医療・診断への応用研究、放射線の生体影響を科学の研究テーマと捉え定量的に研究する活動を続けてきました。幸い、細胞に放射線が侵入してきた際にどのような現象が起こるのかを定量的に研究されている先生方をお招きできる機会を得ることができました。そこで急な話ですが、第1・第3分科会が合同で「放射線の生体影響：マイクロからマクロへ」の研究会を開催することになりました。

### 内容

- ① ROS を中心に、染色体異常の話をしつくり議論する。作見・大野・鷹野諸氏
- ② ミトコンドリアを中心にした勉強会 岡・大野・鷹野

場所：大阪大学核物理研究センター

### 放射線の生体影響（マイクロからマクロへ）

#### 研究会プログラム

#### 1. 日時：

令和4年6月21日（火） 14:00～18:00. 遺伝子・染色体変異をめぐって  
令和4年6月22日（水） II 10:00～18:30. 変異・細胞死メカニズム  
令和4年6月23日（木） III 10:00～16:00. ミクロからマクロへ

#### 2. 方法： 会場とオンライン参加によるハイブリッド方式（Zoom 接続）

#### 3. 場所： 大阪大学核物理研究センター 大会議室（6階）

大阪府茨木市美穂ヶ丘 10-1 吹田キャンパス（23番）

（最寄り駅：大阪モノレール、阪大病院前駅）

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top>

#### 4. プログラム：

- I-1 ROS による DNA 損傷と突然変異の話 （作見先生）
  - I-2 Germline vs Somatic mutation （鷹野先生）
  - II-1 細胞の生死を司るミトコンドリアの話 （岡先生）
  - II-2 Neel が狙った統一的理解へ向けて （坂東先生）
  - II-3 がん治療における LNT LQM WAM 模型の位置づけ （総合討論）
  - III-1 生体における遺伝子、染色体を見渡す問題整理と社会貢献 （総合討論）
  - III-2 放射線影響と活用のクロストーク 宇宙飛行士・がん治療 （総合討論）
- 第1分科会 座長 真木  
第3分科会 座長 土岐